

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
人との接し方・相手の気持ち	中学部	こころとからだの学習 （総合的な学習の時間）	

<ねらい>

- ・相手と関わる際に、目には見えない「気持ち」があることに気付く
- ・イラストを見て相手の気持ちを想像し、言葉で表現することができる
- ・相手の気持ちについて考えたことを、日常生活で実践しようとするすることができる。

学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1. あいさつ	・ 始まりの挨拶をする。	
2. 友達との接し方 （相手との距離）	・ 学習内容を知る。 ・ 2つのイラストを見て、どちらの接し方が適切であるかを考える。 ・ 良い接し方・そうでない接し方の違いは何かを考える。	○今の自分は、大人に向かう成長過程であることを意識させる。 ○自分だったらどのように感じるかを考えさせる。
3. いろんな気持ち ～どんな気持ち？	・ 自分が同じように相手に関わられた時、それぞれどんな気持ちになるのかを考える。 ・ 相手の気持ちに寄り添った関わり方を考える。 ・ それぞれのイラストが、どの気持ちを表しているのかを考える。	○「？」のマークで隠れている相手の表情や気持ちを想像する。 ○難しい生徒はカードで選択するように促す。 ・ 気持ちカード「楽しい」「悲しい」「困る」「イライラ」「面白い」「怖い」「うるさい」「イヤ」 ○答えた内容（気持ち）が友達と違っていても良いこと、感じ方は人それぞれ違うことを伝える。
4. 相手の気持ち 「うれしいことば」 「かなしいことば」	・ 言われて嬉しい言葉、悲しい言葉について考える。 例) 「絵が苦手」→「大丈夫だよ」「ヘタクソ」など。	○2つの言葉掛けを比較し、自分ならどう感じるかを考えさせる。

<内容（工夫点など）>

- ・ イラストの顔の部分で「？」で隠すことで、相手がどんな表情をしているのかを想像したり、話し合ったりできるようにした。
- ・ 挨拶、一緒に本を読む、順番に並ぶなど、生徒にとって身近な場面を例にあげること、関わり方の理解を促すようにした。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・ 相手はどう感じるかという質問に、生徒からは「腹が立つ」「イヤ」「困る」など様々な回答があり、生徒の意見から互いの感じ方の違いが分かり合えたことは良かった。